

放射能除染のための国際シンポジウム プログラム

開催日時：2014年7月5日（土）10：00～15：45

開催場所：郡山市民文化センター

主催：一般社団法人環境放射能除染学会・環境省

- 10：00～10：10 開会の辞
森田昌敏（（一社）環境放射能除染学会 理事長）
1. 10：10～10：50 日本における除染対策とその効果
平岡英治（環境省大臣官房審議官）
2. 10：50～11：40 国連科学委員会（UNSCEAR）による福島事故の評価
Dr.Stephen Solomon（UNSCEAR 被ばく線量評価チームリーダー、オーストラリア放射線安全庁）
3. 11：40～12：30 ブリヤンスク(ロシア)におけるチェルノブイリ落下物および陸上
放射性核種からの外部被ばくの評価
Dr. Valerii Ramzaev（サンクトペテルブルグ放射線衛生研究所、ロシア）
- 12：30～13：30 昼休み
4. 13：30～14：20 汚染環境での低レベル放射線被ばくのリスクコミュニケーション
Dr.Alan Cresswell（スコットランド大学連携環境研究センター、英国）
- 14：20～14：35 休憩
5. 14：35～15：25 核の過去の負の遺産の管理と、陸上および水系生態系における
低レベル放射能汚染の管理：ノルウェーロシアの規制協力での
経験と学んだこと
Dr.M.K.Snave（ノルウェー）
6. 15：25～15：45 国際シンポジウムのまとめ、および閉会の辞
関谷毅史（環境省福島再生事務所長）

※海外からの講演については日本語の解説と通訳が付きます。

※プログラムは講演者の都合により、演題等が一部変更になる場合があります。